

令和5年(2023年)度「極域複合科学概論」(極域科学コースの授業科目:教養講座として所内公開)

前学期: 木曜日2時限(10:45~12:15)・オンライン

対象学年: 全学年

	開講日	授業題目	講師名	身分
1	5月18日	「南極国際連携(1):科学研究:SCAR」	中村卓司	所長・教授
2	5月25日	「南極国際連携(2):観測支援体制:COMNAPやDROMLANなど」	橋田元	教授
4	6月15日	「北極に関する国際制度の形成と展開」	西本 健太郎	教授
5	6月22日	「北極圏:探検から地球環境研究のフロンティアへ」	榎本浩之	教授
6	6月29日	「船舶の極域航行と北極域研究船」	山口一	特任教授
7	7月6日	「アイスコアから読み解く両極における過去の温暖化」	東久美子	教授
8	7月13日	「両極の国際連携:研究データの管理公開と利活用」	金尾政紀	准教授
3	7月20日	「南極条約体制と南極観測・その展望」	伊村智	教授
9	7月27日 8月3日		(予備日)	

授業の概要	本授業では、わが国が南極域、北極域で進めている科学観測のこれまでの歴史と現状、将来への展望について、科学研究面や設営的側面、環境保護の観点、社会生活との関係など、多角的な視点からの講義を行い、極域というユニークなフィールドで実施されている複合科学の全体像とその魅力を紹介する。
到達目標	我が国の南極、北極研究の概要、歴史、国際的背景、設営工学的特徴などを理解する。
成績評価方法	全体の6割以上の出席が単位取得条件。課題の理解度を評価する